
令和5年度
吉川市家族の世話などによる生活への影響に関する調査
調査結果報告書

令和5年11月

吉川市こども福祉部子育て支援課
吉川市教育委員会学校教育課

目次

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	実施主体	1
3	対象者	1
4	調査時期	1
5	調査方法	2
6	回答率	2
II	小学生の調査	3
1	調査の概要	3
2	調査結果	4
III	中学生の調査	9
1	調査の概要	9
2	調査結果	10
IV	調査結果	15
V	調査票	16
	吉川市 家族の世話などによる生活への影響に関する調査（小学生）	16
	吉川市 家族の世話などによる生活への影響に関する調査（中学生）	19

I 調査の概要

国では、令和2年度に子ども本人を対象として、「ヤングケアラーの実態に関する調査」を実施し、中学2年生では5.7%の生徒が世話をしている家族が「いる」と回答した。令和3年度の実施された同様の調査では、小学6年生では6.5%の児童が世話をしている家族が「いる」と回答した。

埼玉県では、令和2年度に「埼玉県ケアラー支援計画のためのヤングケアラー実態調査」を実施し、高校2年生は、5.3%の生徒が、自身がヤングケアラーである、または過去にそうであったと思うかについて、「はい」と回答した。そのうち、ケアの相手が「幼い（未就学児・小学生）」という理由のみでケアしているものを除いた、4.1%をヤングケアラーの対象者としている。

この度、吉川市では、ヤングケアラー支援策を検討するに当たり、子どもの家族の世話などによる生活への影響に関する調査を実施し、その現状を把握するとともに、ヤングケアラーに関する子ども自身の正しい理解を促進することを目的として、基本的な設問を設定し、「吉川市家族の世話などによる生活への影響に関する調査」を実施した。

1 調査目的

吉川市におけるヤングケアラー支援策を検討するに当たり、子どもの家族の世話などによる生活への影響に関する調査を実施し、その現状を把握するとともに、ヤングケアラーに関する子ども自身の正しい理解を促進することを目的とする。

2 実施主体

こども福祉部子育て支援課と教育部学校教育課の合同実施

3 対象者

市内公立小学校4年生から6年生までの児童

市内公立中学校1年生から3年生までの生徒

4 調査時期

令和5年7月10日（月）から7月14日（金）まで

5 調査方法

- ・無記名式による調査
- ・基本はタブレットでの回答、必要に応じて紙媒体の調査票を配付

6 回答率

種別	児童数・生徒数	回答者数	回答率
小学校4～6年生	2,152人	1,682人	78.15%
中学校1～3年生	2,155人	1,848人	85.75%
全体合計	4,307人	3,530人	81.95%

※上記「児童数・生徒数」には、調査実施の際に、長期欠席等により本調査を受けることができなかった児童・生徒も含まれる。

Ⅱ 小学生の調査

1 調査の概要

(1) 対象者

市内公立小学校4年生から6年生までの児童(2,152人)

(2) 調査時期

令和5年7月10日(月)から7月14日(金)まで

(3) 調査方法

- ・無記名式による調査
- ・基本はタブレットでの回答、必要に応じて紙媒体の調査票を配付

(4) 回答状況

種別	児童数	回答者数	回答率
小学校4～6年生	2,152人	1,682人	78.15%

※上記「児童数」には、調査実施の際に、長期欠席等により本調査を受けることができなかった児童も含まれる。

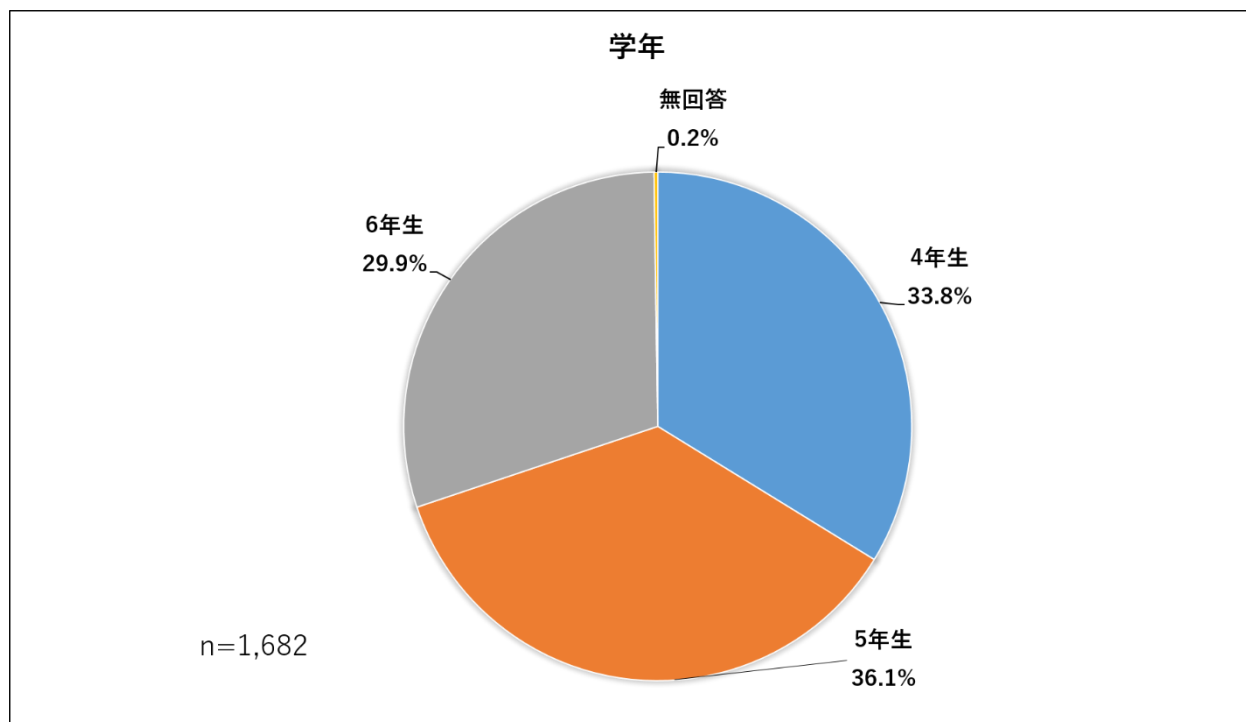
(5) その他

調査の実施時は、児童に対して統一した説明を行った上で、本調査を行った。

調査上、ヤングケアラーについては、「家族のために、大人がするような家事や家族の世話(介護など)を毎日のように行っている小・中学生などの子どものこと」と定義し、イラストにて、例示を行ったうえで、調査を実施した。

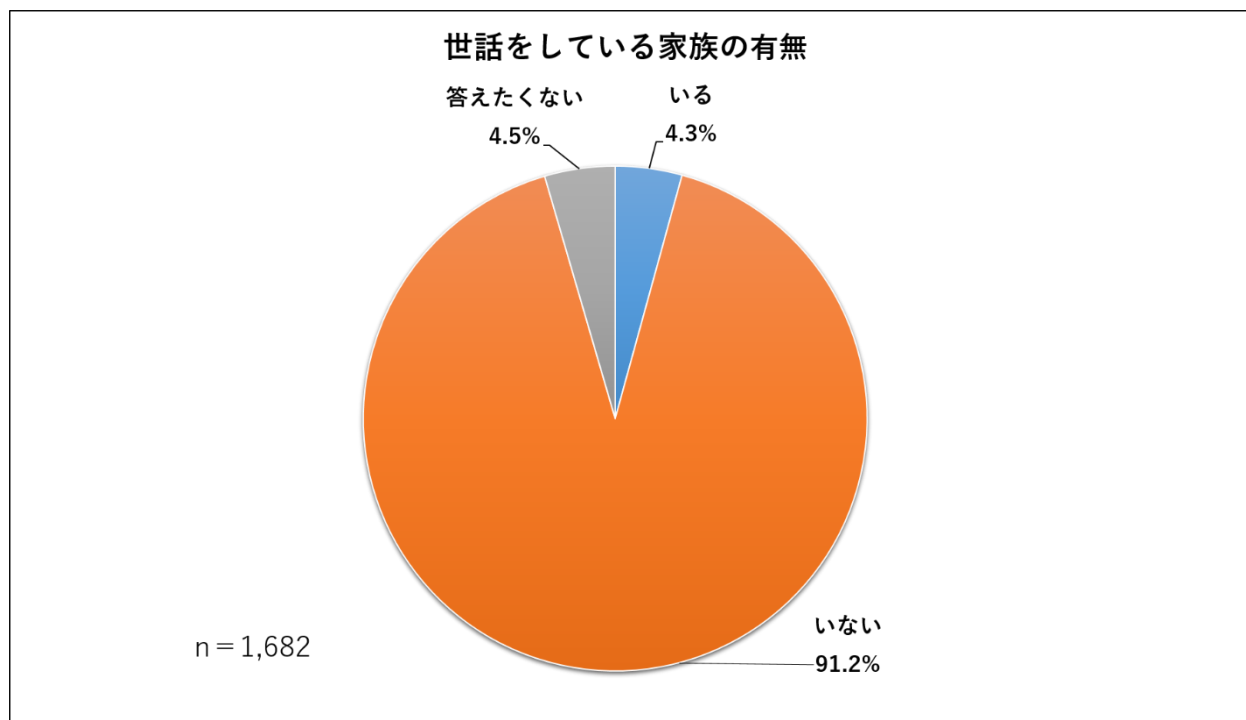
2 調査結果

(1) あなたは何年生ですか。



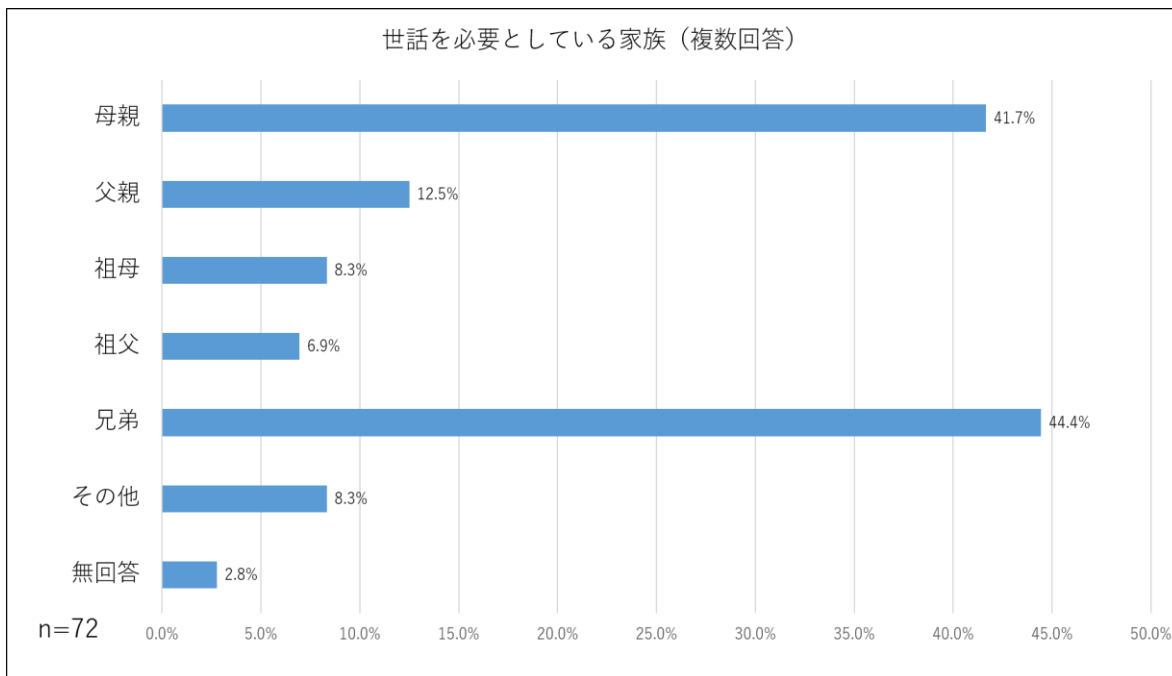
(2) 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。

全体のうち「いる」が4.3%となっており、「いない」は91.2%となっている。



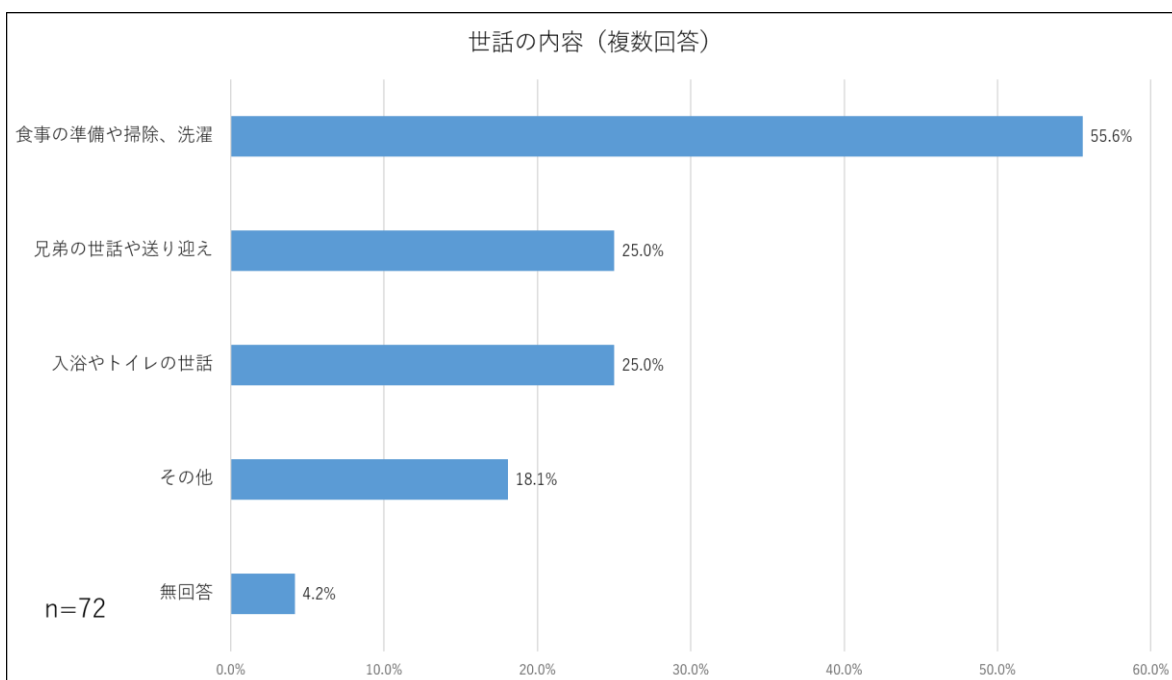
(3) あなたはだれのお世話をしていますか。

お世話を必要としている家族について、「兄弟」が44.4%と一番多く、次いで、「母親」が41.7%、「父親」が12.5%となっている。その他には、「赤ちゃん」「曾祖母」「友達」などの回答があった。



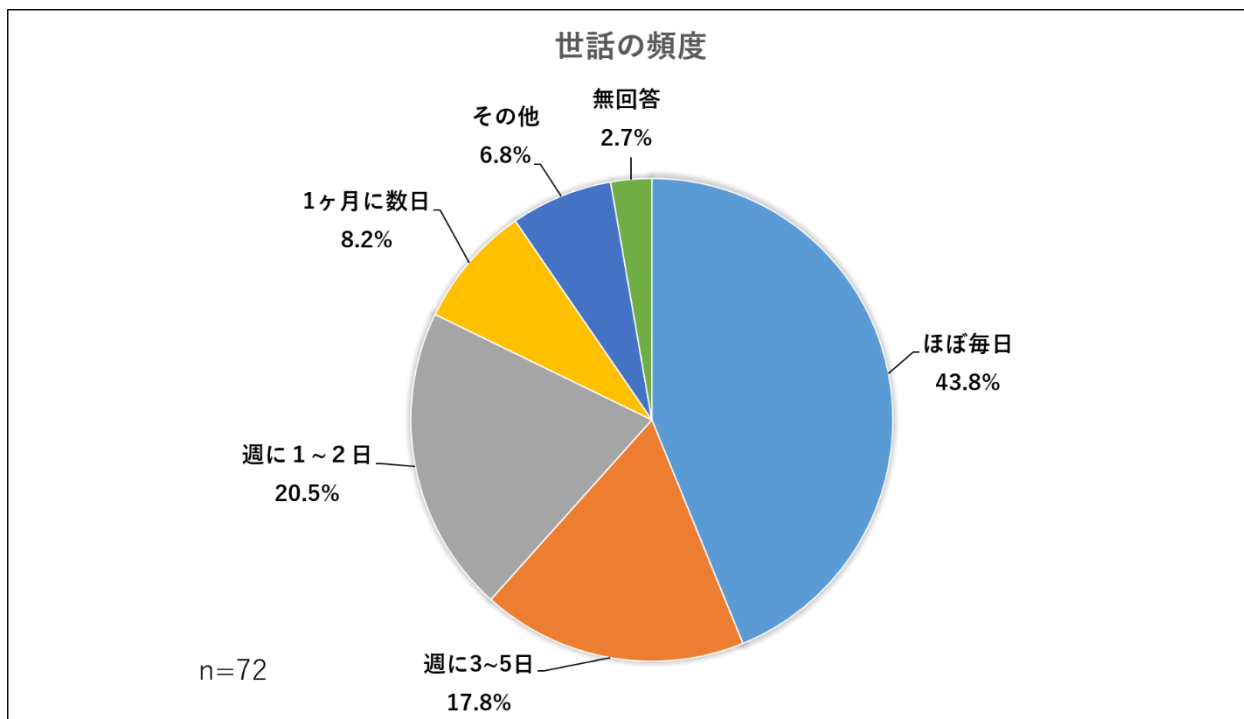
(4) あなたはどのようなお世話をしていますか。

お世話の内容としては、「食事の準備や掃除、洗濯」が55.6%と一番多い。その他には、「ごみ捨て」「着替え」「病院への同伴」などの回答があった。



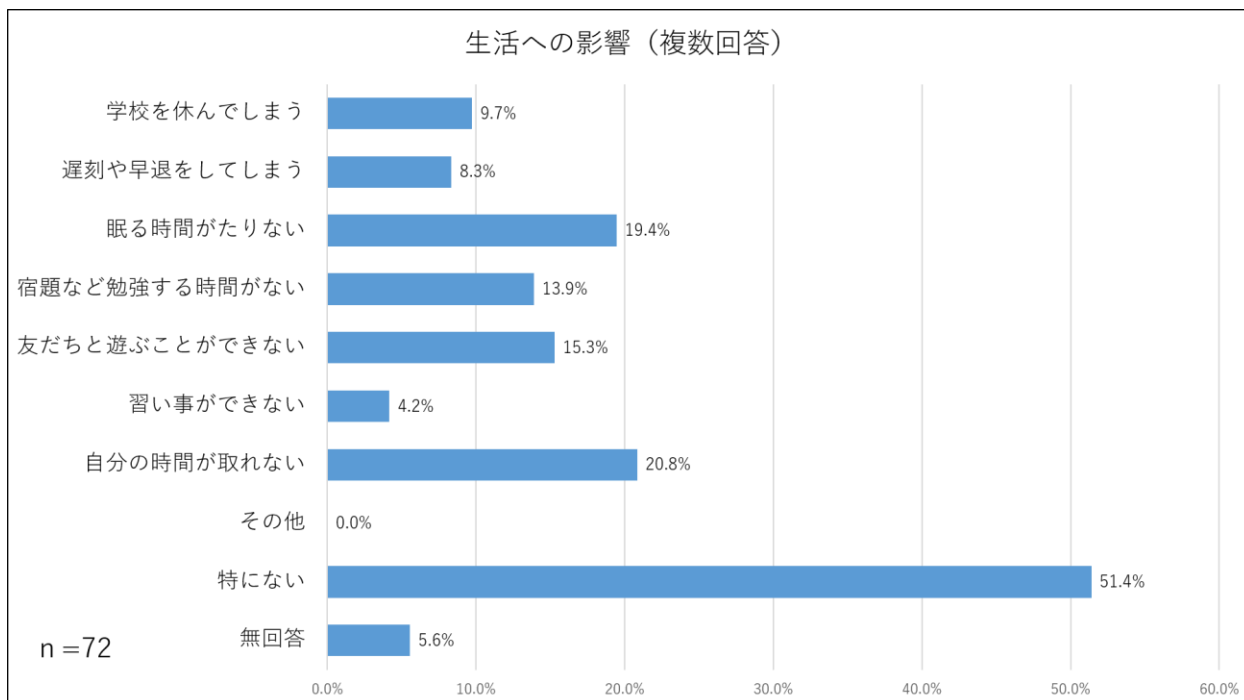
(5) あなたはどのくらいお世話をしていますか。

「ほぼ毎日」が43.8%と一番多く、次いで、「週に1～2日」が20.5%、「週に3～5日」が17.8%となっている。



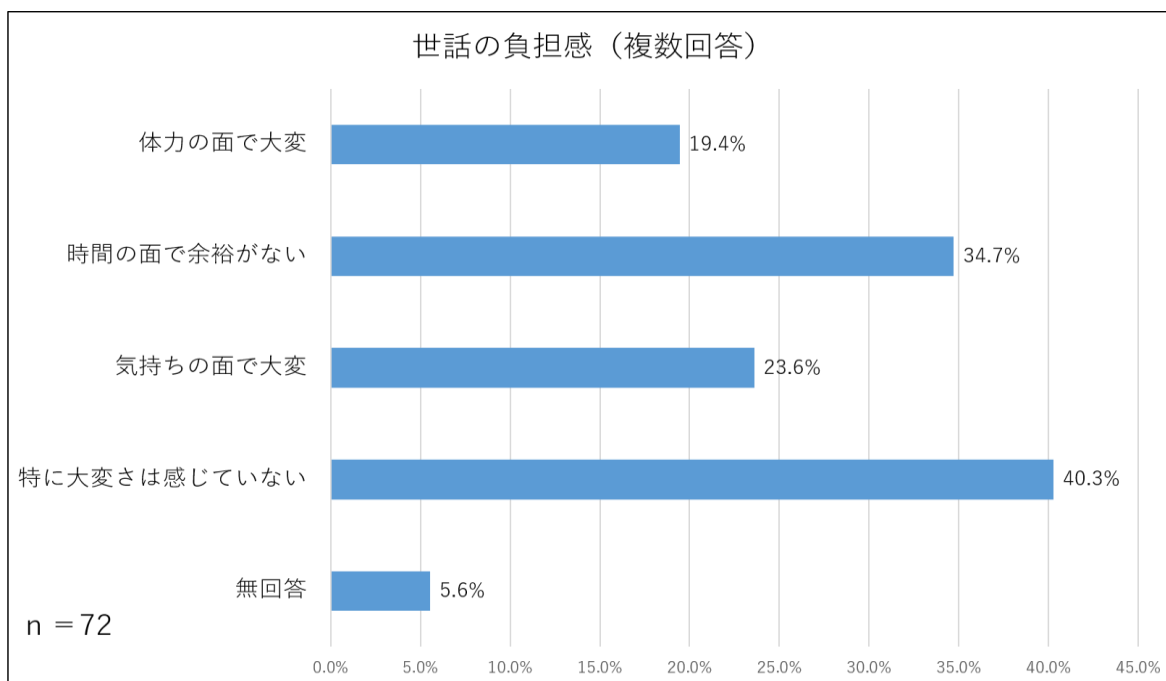
(6) お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。

生活への影響について、「特にない」が51.4%と一番多く、次いで、「自分の時間が取れない」が20.8%、「眠る時間がたりない」が19.4%となっている。



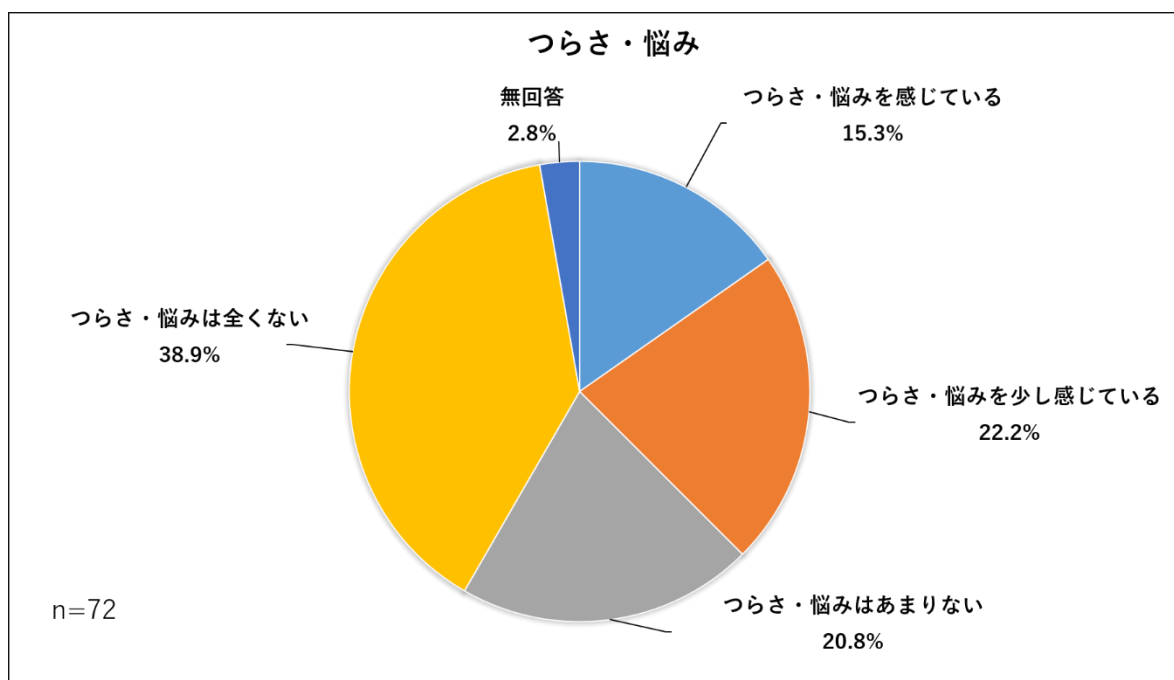
(7) お世話をすることに「たいへんさ」を感じていますか。

負担感について、「負担を感じていない」が40.3%と一番多く、次いで、「時間の面での負担」が、34.7%となっている。



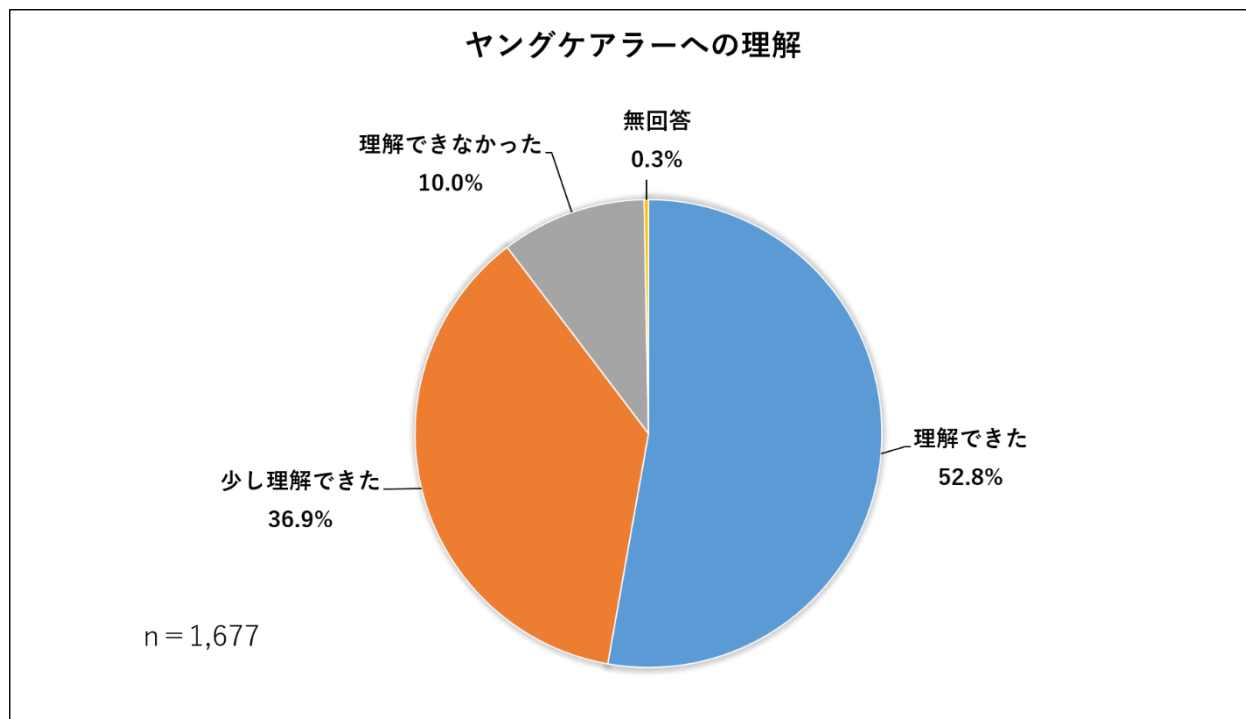
(8) お世話をすることに「つらさ・なやみ」はどのぐらい感じていますか。

辛さ・悩みについて、「つらさ・悩みは全くない」が38.9%と1番多く、次いで、「つらさ・悩みを少し感じている」が22.2%、「つらさ・悩みはあまりない」が20.8%となっている。



(9) 今回の調査でヤングケアラーを理解できましたか。

ヤングケアラーへの理解について「理解できた」が52.8%と一番多く、次いで、「少し理解できた」が36.9%となっている。



Ⅲ 中学生の調査

1 調査の概要

(1) 対象者

市内公立中学校1年生から3年までの生徒(2,155人)

(2) 調査時期

令和5年7月10日(月)から7月14日まで(金)

(3) 調査方法

- ・無記名式による調査
- ・基本はタブレットでの回答、必要に応じて紙媒体の調査票を配付

(4) 回答状況

種別	生徒数	回答者数	回答率
中学校1～3年生	2,155人	1,848人	85.75%

※上記「生徒数」には、調査実施の際に、長期欠席等により本調査を受けることができなかった生徒も含まれる。

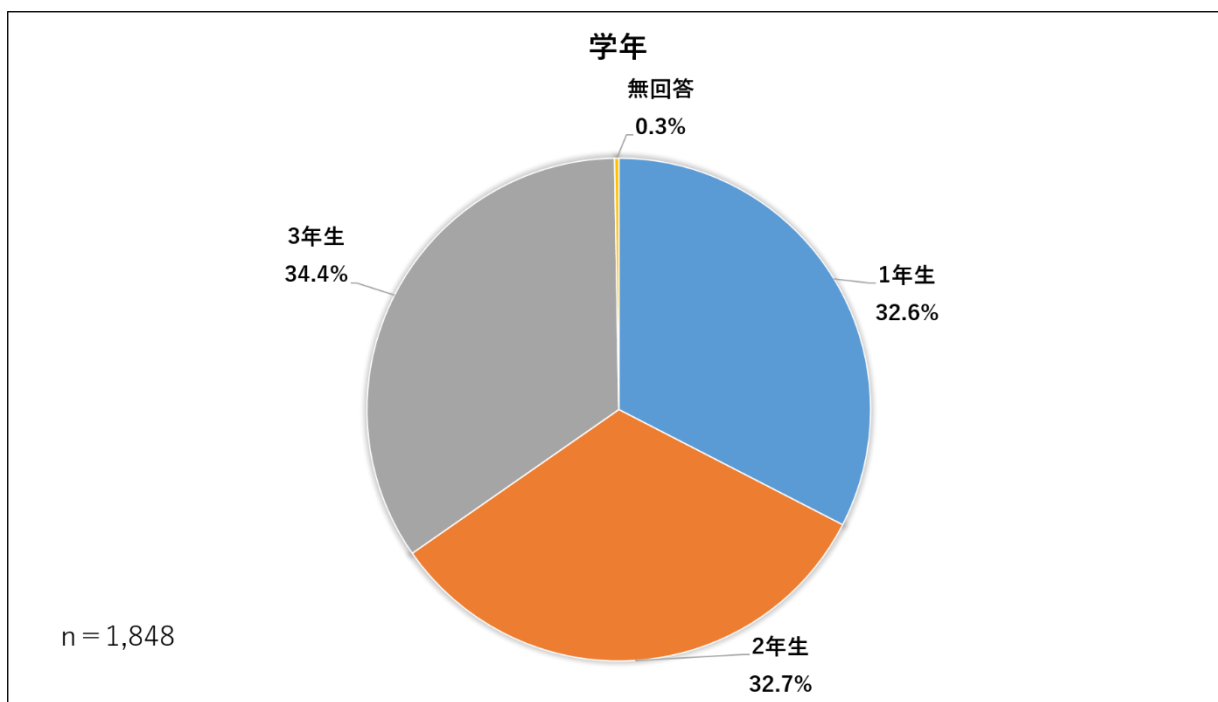
(5) その他

調査の実施時は、生徒に対して統一した説明を行った上で、本調査を行った。

調査上、ヤングケアラーについては、「家族のために、大人がするような家事や家族の世話(介護など)を毎日のように行っている小・中学生などの子どものこと」と定義し、イラストにて、例示を行ったうえで、調査を実施した。

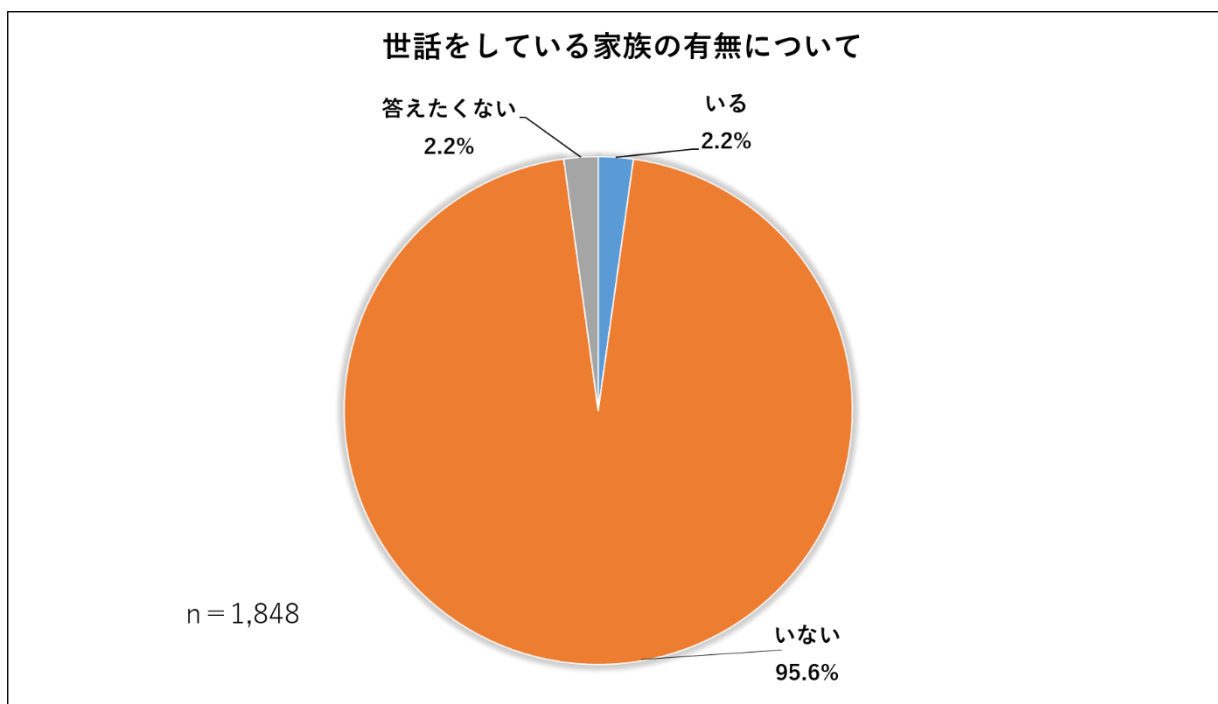
2 調査結果

(1) あなたは何年生ですか。



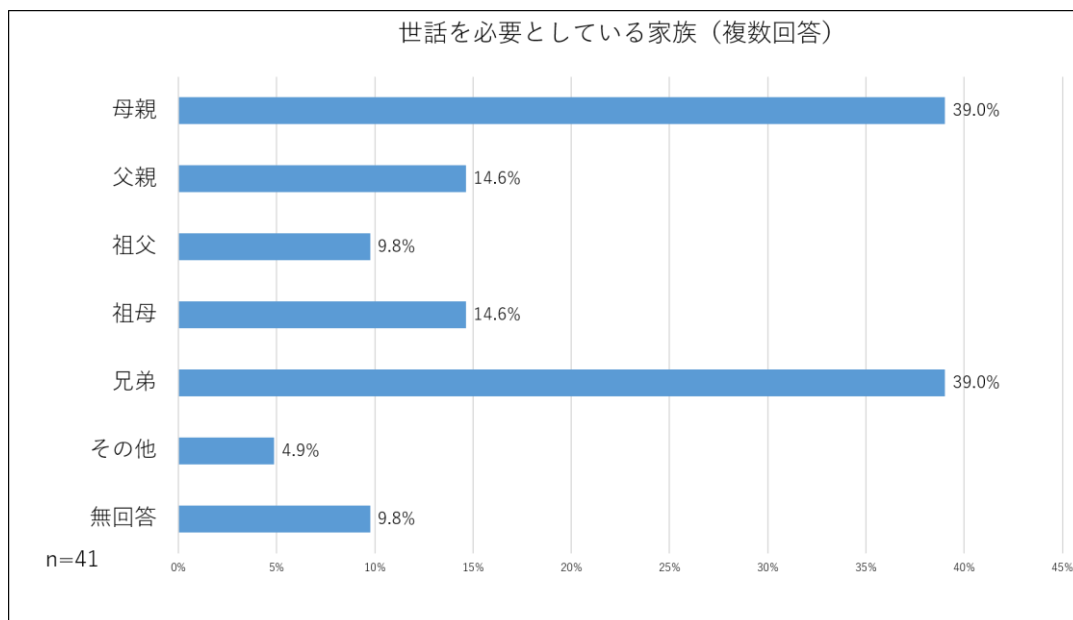
(2) 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。

全体のうち「いる」が2.2%となっており、「いない」は95.6%となっている。



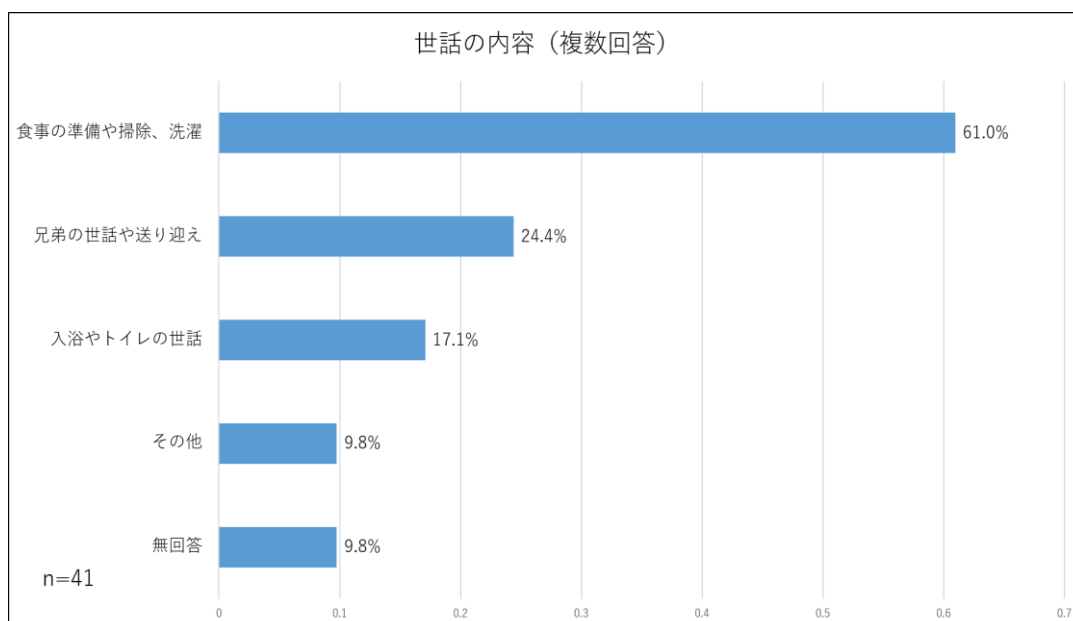
(3) あなたはだれのお世話をしていますか。

お世話を必要としている家族については、「母」「兄弟」が39.0%と一番多く、次いで、「父」「祖母」が14.6%と同数になっている。その他には「いとこ」「曾祖父」などの回答があった。



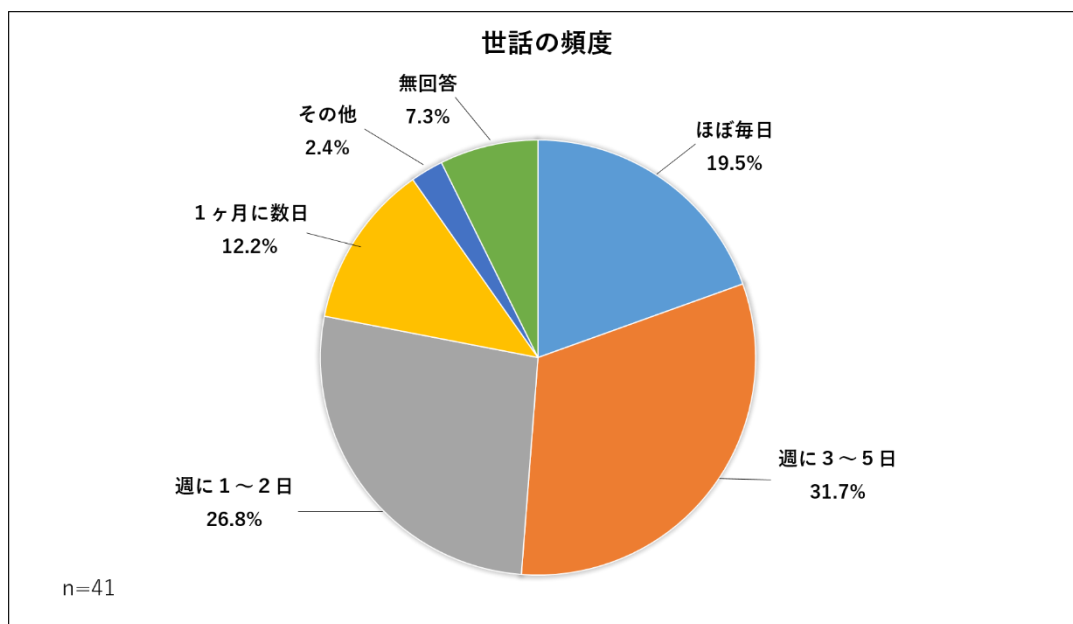
(4) あなたはどのようなお世話をしていますか。

お世話の内容については、「食事の準備や掃除、洗濯」が61.0%と一番多く、次いで、「兄弟の世話や送り迎え」が24.4%となっている。その他には「障がいのある家族の介助」や「マッサージ」などの回答があった。



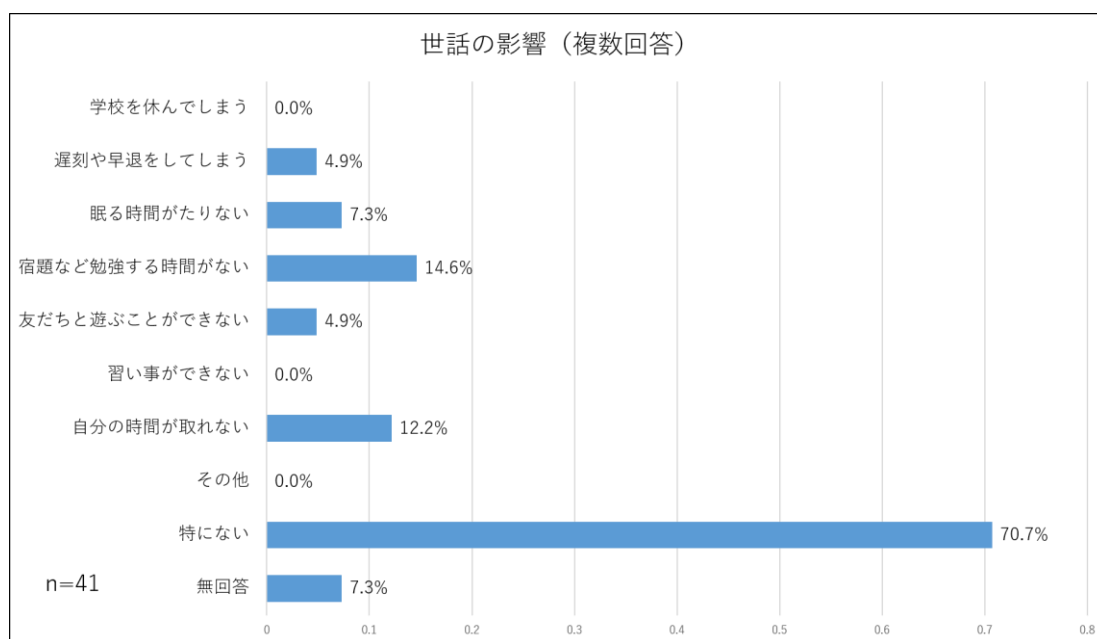
(5) あなたはどのくらいお世話をしていますか。

お世話の頻度について、「週に3～5日」が31.7%と一番多く、次いで、「週に1～2日」が26.8%、「ほぼ毎日」が19.5%となっている。



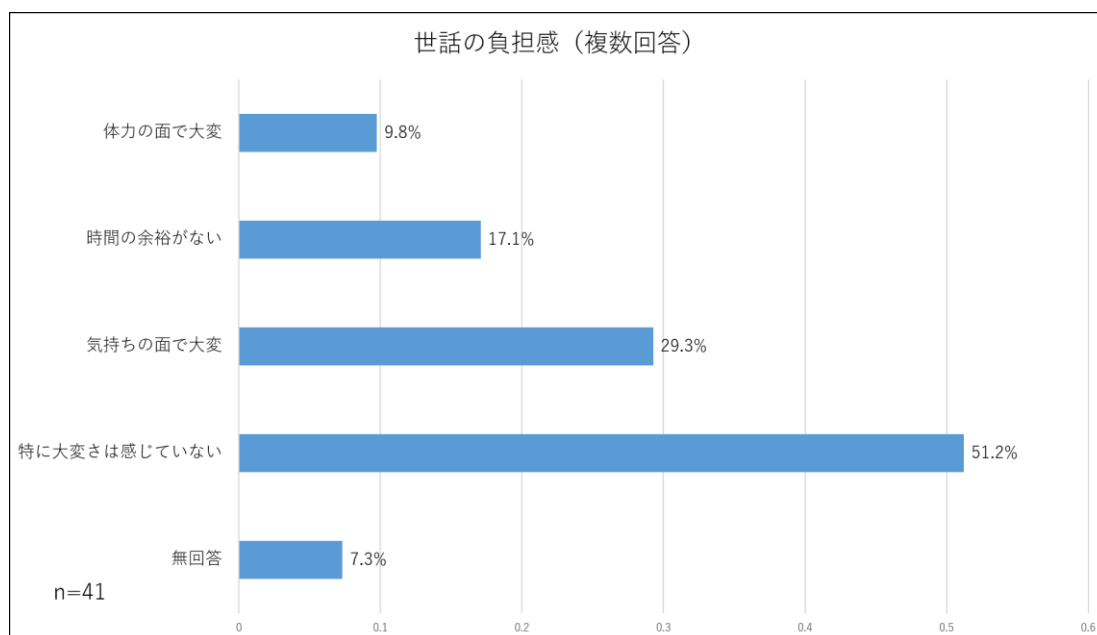
(6) お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。

生活への影響について、「特にない」が70.7%と一番多く、次いで、「宿題など勉強する時間がない」が14.6%、「自分の時間が取れない」が12.2%となっている。



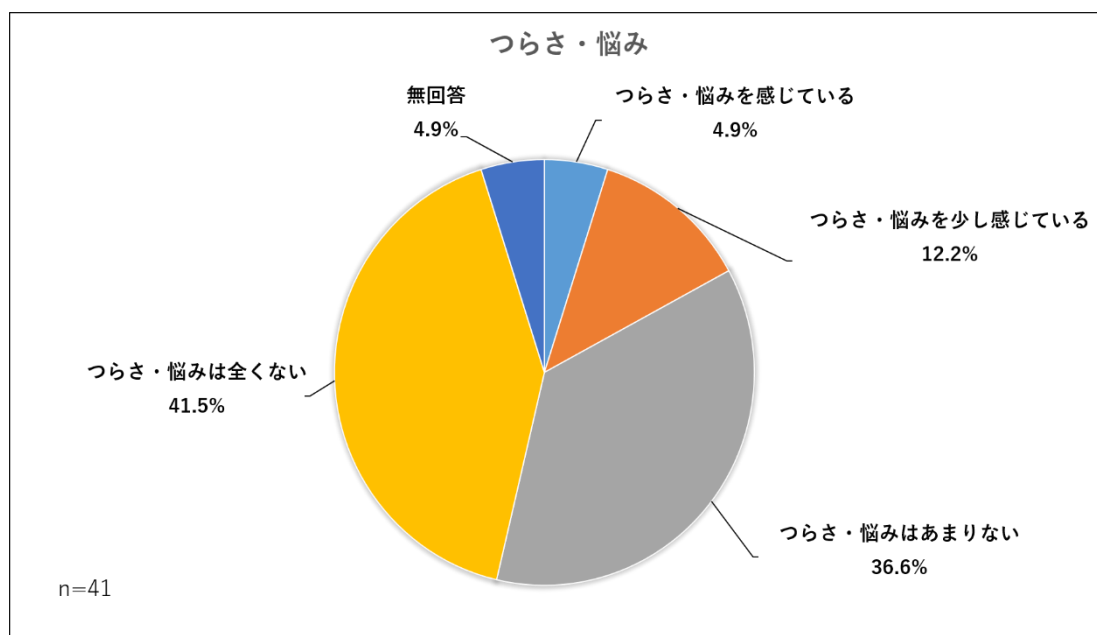
(7) お世話をすることに「たいへんさ」を感じていますか。

お世話の負担感について、「特に大変さは感じていない」が51.2%と一番多く、次いで、「気持ちの面で大変」が29.3%となっている。



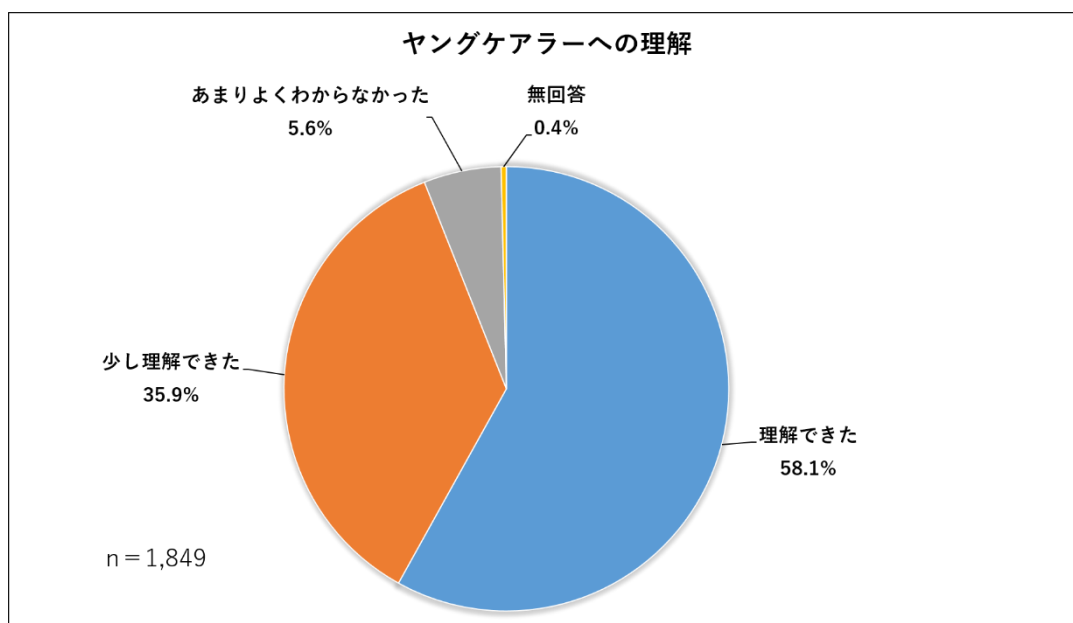
(8) お世話をすることに「つらさ・なやみ」はどのぐらい感じていますか。

辛さ・悩みについて、「つらさ・悩みは全くない」が、41.5%と一番多く、次いで、「つらさ・悩みはあまりない」が36.6%、「つらさ・悩みを少し感じている」が12.2%となっている。



(9) 今回の調査でヤングケアラーを理解できましたか。

ヤングケアラーへの理解について「理解できた」が58.1%と一番多く、次いで、「少し理解できた」が35.9%となっている。



IV 調査結果

(1) お世話をしている家族について

小学生では、「お世話をしている」と回答している子どもが4.3%となっており、その中で何らかの「つらさ・悩みを感じている」子どもは、37.5%となっている。

中学生では、「お世話をしている」と回答している子どもが2.2%となっており、その中で何らかの「つらさ・悩みを感じている」子どもは、17.1%となっている。

(2) ヤングケアラーと思われる子どもについて

ヤングケアラーを捉える上では、「お世話をしている」状態が、本人にとって、どのような影響が出ており、その影響を本人がどのように受け止めているかを、考慮する必要があると考えられる。

そのため、本調査においては、「お世話をしている」、かつ、「つらさ・悩みを感じている」という二つの視点に焦点を当てて、ヤングケアラーと思われる子どもを捉えることとする。

その結果、小学生では1.6% ($4.3\% \times 37.5\%$)、中学生では0.3% ($2.2\% \times 17.1\%$)の子どもが、ヤングケアラーと思われる子どもとなった。

(3) お世話の内容について

お世話の内容については、小学生、中学生ともに、「食事の準備や掃除、洗濯」が一番多くなっている。

(4) お世話による生活への影響について

小学生では、「自分の時間が取れない」が一番多く、次いで、「眠る時間がたりない」となっている。

中学生では、「宿題など勉強する時間がない」が一番多く、次いで、「自分の時間が取れない」となっている。

(5) ヤングケアラーへの理解について

小学生、中学生合わせて、全体の90%以上がヤングケアラーのことを理解できている。

V 調査票

吉川市 家族の世話などによる生活への影響に関する調査(小学生)

●この調査について

- ・この調査は、ヤングケアラーに関することで、あなたの家族の世話などによる生活への影響をお聞きし、子どもたちの現状をはあくするために行うものです。
- ・この調査は名前を書かずに行いますので、あなたの回答がだれかに知られることはありません。
- ・答えたくない質問には答えず、次の質問に進んでもかまいません。
- ・この調査は、吉川市と吉川市教育委員会が共同で行います。
- ・みなさんの回答一つひとつが大切な意見です。ぜひご協力をおねがいします。





●ヤングケアラーとは

- ・家族のために、大人がするような家事や家族の世話(介護など)を毎日のように行っている小・中学生などの子どものことをいいます。

●「ケア」にはいろいろな意味があります

- ・「ケア」という言葉には、身の回りのお世話、気配り、手当てなどの意味があります。

<ヤングケアラーとは、例えばこんな子どもたちです>

	しょう びょうき 障がいや病気のある かぞく せわ かんびょう 家族のお世話、看病 をしている。		びょうき しょう 病気や障がいがある かぞく か 家族に代わり、 かじ 家事をしている。
	こころ ふあんてい かぞく 心が不安定な家族 せわ のお世話をしている。		かぞく か 家族に代わり、 おきな 幼いきょうだいの せわ お世話をしている。

出典：こども家庭庁ホームページから作成

●次の問1～問9について、おたずねします。

問1. あなたは何年生ですか。

- 1. 4年生
- 2. 5年生
- 3. 6年生

問2. 家族の中にあなたが上のイラストのようなお世話(障がいや病気のある家族のお世話、看病をしているなど)をしている人はいますか。

- 1. いる
- 2. いない ⇒ 問9へ
- 3. 答えたくない ⇒ 問9へ

問3. 問1で「いる」と答えた人にお聞きします。あなたはだれのお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. お母さん
- 2. お父さん
- 3. おばあさん
- 4. おじいさん
- 5. きょうだい
- 6. その他()

問4. あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話している人が何人かいる場合には、あてはまる番号すべてに○をしてください。

- 1. 食事のじゅんびやそうじ、洗たく
- 2. きょうだいのお世話や送りむかえ
- 3. 入浴やトイレのお世話
- 4. その他()

問5. あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

- 1. ほぼ毎日
- 2. 週に3～5日
- 3. 週に1～2日
- 4. 1ヶ月に数日
- 5. その他

問6. お世話をしていることで、以下のような経験(けいけん)をしたことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 学校を休んでしまう
- 2. ちこくや早たいをしてしまう
- 3. ねむる時間がたりない
- 4. 宿題など勉強する時間がない
- 5. 友だちと遊ぶことができない
- 6. 習い事ができない

7. 自分の時間が取れない
8. その他()
9. 特にない

問7. お世話をすることに「たいへんさ」を感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 体力の面でたいへん
2. 時間のよゆうがない
3. 気持ちの面でたいへん
4. 特にたいへんさは感じていない

問8. お世話をすることに「つらさ・なやみ」はどのぐらい感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

- 1. つらさ・なやみを感じている
2. つらさ・なやみを少し感じている
3. つらさ・なやみはあまりない
4. つらさ・なやみはまったくない

問9. 今回の調査でヤングケアラーを理かいましたか？(あてはまる番号1つに○)

- 1. 理かいたできた
2. すこし理かいたできた
3. あまりよくわからなかった

家族のお世話をすることは、とても価値(かち)のある大切なことです。ただ、お世話の負担(ふたん)が大きいと気持ちや体力の面でたいへんな思いをすることがあるかもしれません。あなた自身、あるいは友だちで、家族のお世話をすることで悩みや心配なことがある場合には、学校の先生や、吉川市役所『子どもと家庭の相談窓口(048-940-1258)』などへ相談してください。

アンケートにご協力いただき、どうもありがとうございました。

吉川市 家族の世話などによる生活への影響に関する調査（中学生）

●この調査について

- ・この調査は、ヤングケアラーに関することで、あなたの家族の世話などによる生活への影響をお聞きし、子どもたちの現状を把握するために行うものです。
- ・この調査は名前を書かずに行いますので、あなたの回答が誰かに知られることはありません。
- ・答えたくない質問には答えず、次の質問に進んでもかまいません。
- ・この調査は、吉川市と吉川市教育委員会が共同で行います。
- ・皆さんの回答一つひとつが大切な意見です。ぜひご協力をおねがいします。

●ヤングケアラーとは

- ・家族のために、大人がするような家事や家族の世話（介護など）を毎日のように行っている小・中学生などの子どものことをいいます。

●「ケア」にはいろいろな意味があります

- ・「ケア」という言葉には、身の回りのお世話、気配り、手当てなどの意味があります。

<ヤングケアラーとは、例えばこんな子どもたちです>



しょう びょうき
障がいや病気のある
かぞく せわ かんびょう
家族のお世話、看病
をしている。



びょうき しょう
病気や障がいがある
かぞく か
家族に代わり、
かじ
家事をしている。



こころ ふあんてい かぞく
心が不安定な家族
せわ
のお世話をしている。



かぞく か
家族に代わり、
おきな
幼いきょうだいの
せわ
お世話をしている。

出典：子ども家庭庁ホームページから作成

●次の問1～問9について、おたずねします。

問1. あなたは何年生ですか。

- 1. 1年生
- 2. 2年生
- 3. 3年生

問2. 家族の中にあなたが上のイラストのようなお世話（障がいや病気のある家族のお世話、看病をしているなど）をしている人はいますか。

- 1. いる
- 2. いない ⇒ 問9へ
- 3. 答えたくない ⇒ 問9へ

問3. 問1で「いる」と答えた人にお聞きします。あなたは誰のお世話をしていますか。（あてはまる番号すべてに○）

- 1. お母さん
- 2. お父さん
- 3. おばあさん
- 4. おじいさん
- 5. きょうだい
- 6. その他（ ）

問4. あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話している人が何人かいる場合には、あてはまる番号すべてに○をしてください。

- 1. 食事の準備や掃除、洗濯
- 2. きょうだいのお世話や送り迎え
- 3. 入浴やトイレのお世話
- 4. その他（ ）

問5. あなたはどのくらいお世話をしていますか。（あてはまる番号1つに○）

- 1. ほぼ毎日
- 2. 週に3～5日
- 3. 週に1～2日
- 4. 1ヶ月に数日
- 5. その他

問6. お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

- 1. 学校を休んでしまう
- 2. 遅刻や早退をしてしまう
- 3. 眠る時間がたりない
- 4. 宿題など勉強する時間がない

5. 友だちと遊ぶことができない
6. 習い事ができない
7. 自分の時間が取れない
8. その他 ()
9. 特になし

問7. お世話をすることに「大変さ」を感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1. 体力の面で大変
2. 時間の余裕がない
3. 気持ちの面で大変
4. 特に大変さは感じていない

問8. お世話をすることに「つらさ・悩み」はどのくらい感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

- 1. つらさ・悩みを感じている
2. つらさ・悩みを少し感じている
3. つらさ・悩みはあまりない
4. つらさ・悩みはまったくない

問9. 今回の調査でヤングケアラーを理解できましたか？(あてはまる番号1つに○)

- 1. 理解できた
2. すこし理解できた
3. あまりよくわからなかった

家族のお世話をすることは、とても価値のある大切なことです。ただ、お世話の負担が大きいと気持ちや体力の面でたいへんな思いをすることがあるかもしれません。あなた自身、あるいは友だちで、家族のお世話をすることで悩みや心配なことがある場合には、学校の先生や、吉川市役所『子どもと家庭の相談窓口（048-940-1258）』などへ相談してください。

アンケートにご協力いただき、どうもありがとうございました。